

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
社会保障論Ⅱ	田中 武士	講義	2	社会福祉士	2	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>「社会保障論Ⅰ」において社会保障の歴史、社会保障の体系等を学んだ学生を対象に、公的扶助（生活保護）との関係性、社会政策の構造的理解の促進を図り、社会保障のそれぞれの制度や施策を理解する。また、ソーシャルワーカーとして社会保障の最低限の知識、知見を身につけるとともに、年金や雇用保険、労災保険を中心に現行制度の把握ができるようになることを目標とする。</p> <p><u>なお、本科目は「社会保障論Ⅰ」を履修し単位取得した者のみを対象とする。</u></p>						
到達目標	<p>①歴史的な視点から現代の社会保障の成立過程を理解することができる。</p> <p>②現代における社会保障制度を体系的に理解することができる。</p> <p>③社会保障に関わる政策を検討し、それに対する自らの意見を持つことができる。</p>						
回	学習内容						
1	オリエンテーション（授業内容の予定と評価の方法）						
2	社会保険と民間保険						
3	年金（所得を保障する仕組み）						
4	年金（老齢年金）						
5	年金（障害年金）						
6	雇用保険（所得を保障する仕組み）						
7	雇用保険（保険給付）						
8	労働者災害補償保険（業務上の事故について補償する仕組み）						
9	労働者災害補償保険（保険給付）						
10	公的扶助（生活保護）						
11	社会福祉制度						
12	社会手当						
13	社会保障の法政策						
14	これからの社会保障（地域共生社会のあり方について）						
15	試験および試験終了後に解説						
予習内容 復習内容	<p>予習：授業計画を参考にテキストを一読し、分からない用語については事前に調べておくこと。</p> <p>復習：授業で扱ったテキスト該当箇所や配布した資料等をよく見返すこと。</p>						
教科書	<p>【指定テキスト】 椋野美智子ら（2021）『はじめて学ぶ社会保障－福祉を学ぶ人へ』 有斐閣。</p> <p>【参考文献】 伊藤周平（2021）『社会保障法－権利としての社会保障の再構築に向けて』 自治体研究社。その他、適宜資料を配布します。</p>						
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認小テスト：40%（2回実施予定）、試験：60%で総合的に評価する。</li> <li>公欠以外で授業を6回以上欠席した場合、定期試験の受験資格を失う。</li> </ul>						
実務経験	医療機関や在宅介護支援センターなどでソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員）として20年以上の勤務経験あり。						
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>本科目は「<u>社会保障論Ⅰ</u>」を履修し単位取得した者のみを対象とする。</li> <li>授業は受講者と意見交換をしながら進めるため、主体的な態度での参加を求める。</li> </ul>						